

今週の株式相場見通し

* 日経平均 22,300~23,200円 TOPIX 1,710~1,800

* 期待材料 堅調な企業業績 企業統治改革の進展

* 不安材料 貿易摩擦激化 地政学的リスク 新興国経済の動揺 安倍政権の弱体化

7月19日時点における日経平均採用銘柄の予想利益合計額(日経予想だがほぼ会社予想と同額)は経常利益で41.52兆円、純利益で27.74兆円であり、予想EPSは1,690円程度となっている。これに対して、QUICKコンセンサスをを用いて予想利益を計算すると(コンセンサス予想のない宝HD、東邦鉛、東洋製缶HDは日経予想で代替)、経常利益で44.21兆円、純利益で29.55兆円、予想EPSは1,800円程度となり、今週から本格化する3月期決算企業の第1四半期決算を受けて、日経予想の業績がどの程度、市場予想にキャッチアップしていけるかが注目される。社数ベースの発表集中日は7月31日及び8月10日となっているが、次週以降の決算発表の方向性を推察するうえでも、先行して今週決算を発表する企業の業績見通しについて注視したい。信越化学の決算発表及び説明会では、塩ビ事業を通して米国での減税やインフラ投資による効果と貿易摩擦問題による投資抑制要因についての見解が注目を集める。また、世界シェアトップの半導体用300mmシリコンウエハの顧客基盤を背景とした半導体業界の先行き見通しも、大きな焦点となるものと思われる。また、ファナックでは中国を中心とした省人化投資の継続性、コマツでは中国における金融引き締めによる影響やインフラ投資拡大策への見解が、次週以降の中国関連銘柄の株価動向を大きく左右するものと思われる。これら企業の決算発表や説明会を通して、次週以降の決算発表への期待感が高まれば、日経平均の予想EPS拡大への期待を織り込む展開が想定される。また、海外に目を転じると、25日からの米・EU間の貿易協議が注目される。米・EU間での相互の関税引き下げといった穏当な内容となるなら、今後の貿易摩擦問題への懸念後退を背景に日経平均はPERの拡大を伴った株価上昇も期待される。(7月19日現在、多功 毅)

今週の予定

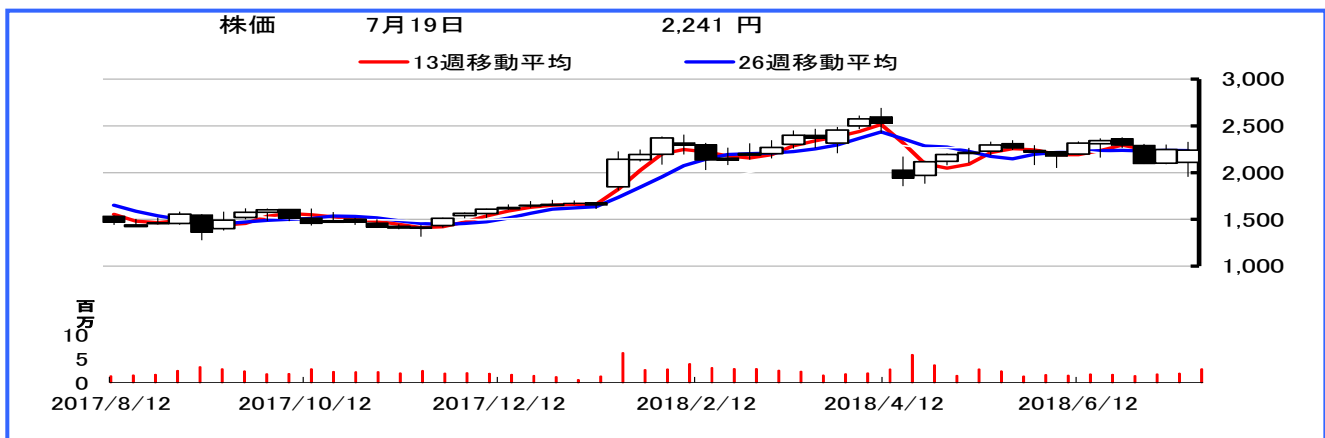
	国内	海外
7/23 (月)	KOA(6999)1Q決算(15:00) 日立化成(4217)1Q決算(17:00)	[米]6月中古住宅販売件数(23:00) [マレーシア]APECビジネス諮問委員会(~26日)
24(火)	7月日経日本製造業PMI(9:30) 三菱自(7211)1Q決算(17:20)	[欧]7月ユーロ圏製造業PMI(17:00) [トルコ]中銀政策金利(20:00)
25(水)	3ヵ月予報(気象庁) 信越化(4063)1Q決算(15:00) アドバンテ(6857)1Q決算(15:00) ファナック(6954)1Q決算(15:00) 日本電産(6594)1Q決算(15:15)	[パキスタン]総選挙 [南ア]第10回BRICS首脳会議(~27日) [米]米・EU貿易問題を巡る交渉 [独]7月IFO企業景況感指数(17:00) [米]6月新築住宅販売件数(23:00)
26(木)	日産自(7201)1Q決算(16:00) 全国知事会議(~27日)	[欧]ECB理事会 [米]6月耐久財受注(21:30)
27(金)	7月東京CPI(8:30) コマツ(6301)1Q決算(15:00)	[米]4-6月期GDP速報値(21:30) 朝鮮戦争の休戦協定締結65周年
28(土)	第41回隅田川花火大会	[中]18年版外資企業投資参入ネガティブリスト実施
29(日)	オートバイ鈴鹿8耐決勝	[カンボジア]下院選挙

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄

ベクトル (6058) 東証1部



	17年2月期		18年2月期		19年2月期(予)		株価(7/19)	2,241 円
	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	業種	サービス
売上高	13,285	37.2%	20,090	51.2%	24,000	19.5%	売買単位	100 株
営業利益	2,206	36.3%	3,026	37.2%	3,800	25.6%	PER(予想)	53.7 倍
経常利益	2,051	41.3%	2,950	43.8%	4,000	35.6%	PBR(実績)	9.8 倍
当期純利益	1,266	50.4%	1,425	12.6%	1,900	33.3%	ROE(実績)	15.0 %
EPS(円)	28.2		31.3		41.7		配当利回り(予想)	— %
配当金(円)	5.0		6.0		未定		担当	松本 直志

出所：業績に関する数値は決算短信、決算説明会資料より

TV やネットなどを活用して顧客企業の商品やサービスを、安く効率的に広める戦略PRが主力。ニュースリリース配信事業(PR TIMES)、記者発表会など企業が見せたいニュース動画をターゲットに直接配信するビデオリリース配信事業(NewsTV)、自社のPRノウハウを活用して商品販売を行うダイレクトマーケティング事業(ビタブリッドジャパン)も展開。17年度の営業利益の構成比は戦略PRが71.8%、PR TIMES 12.4%、NewsTV 8.0%、ビタブリッドジャパン 7.1%、その他 0.7%。

1Q決算は前年同期比41.5%増収、12.2%営業増益。ビタブリッドジャパンで広告宣伝費を7.4億円投入したことで、利益の伸びは小幅にとどまったが、過去最高の売上、利益を更新し、各事業がいずれも好調に推移している。戦略PRは前年同期比30.4%増収、38.6%営業増益。戦略PRのプロジェクト件数が増加し、今後の事業基盤となる長期契約クライアントの獲得も進展。PR TIMESは前年同期比36.2%増収、85.8%営業増益。PR TIMESの利用企業数は前年同期比30.7%増の23,079社となり、上場企業の31.7%が活用。画像と動画を活用したリリースが伸びており、画像点数は前年同期比33.9%増の138,762点、動画本数は51.7%増の2,190本に拡大。NewsTVはビデオリリースの配信本数が増え、前年同期比81.6%増収、営業利益は約8倍に拡大。ビタブリッドジャパンは前年同期比84.7%増収、営業利益は1.5億円の赤字になったが、新規顧客の獲得が好調なため、年間目標の営業利益2.7億円を上回る見込み。ネット炎上検知・沈静化対応などリスクマネジメントサービスを提供するブランドコントロール社の株式を取得。他サービスとのクロスセルによる顧客単価引き上げ、ベクトル経済圏の一段の拡大を進める方針。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(7/19) 売買単位	コメント
クリエイト SDH (3148) 東証1部 2,812円 100株	前期決算は、クーポン販促をおこなったものの既存店売上高が伸び悩み、人件費上昇の影響を吸収できず8.4%増収も4.0%営業減益での着地。今期は、販促戦略を見直し、再度EDLP戦略強化で効率化を図る計画。また、薬価改定の影響は調剤併設店の拡充、地域支援体制加算、後発医薬品調剤体制加算獲得によってカバーし、さらにシステム化推進による業務効率化も見込むことで8.5%増収、5.2%営業増益を計画。(多功 毅)
コスモス薬品 (3349) 東証1部 24,720円 100株	前期においては、人件費等のコスト上昇を売上増で補う計画であったが、他社の赤字覚悟の値引き販売やポイント乱発への対応が遅れたことで既存店が伸び悩み、上期の業績は苦戦。下期に入り、EDLP戦略の推進と仕入れ条件の改善を通じたさらなる売価引き下げ、加えて高採算商品の接客販売の強化が奏功し、4Qの業績は大きく改善。今期は既存店売上高を1.5%増としたうえで、9.3%増収、1.1%営業増益を計画しているが、保守的計画と思われる。(多功 毅)
中国塗料 (4617) 東証1部 1,211円 100株	前期決算は、船舶修繕用途やコンテナ向けについては期中に底打ちしたものの、主力の新造船用途が低調で、価格競争激化や原料高の影響もあり0.7%増収、31.2%営業減益で着地。今期も、引き続き新造船用途は低調に推移する見込みであり、価格競争激化や原料高の影響を織り込み売上横ばい、20.3%営業減益を計画。中計では、新造船用途の来期以降の回復を見込み、21年3月期に売上高1,000億円、営業利益87億円を計画。配当方針はDOE3%かつ配当性向30%以上。(多功 毅)
安川電機 (6506) 東証1部 3,785円 100株	1Q決算は前年同期比19.3%増収、30.0%営業増益、受注は10%増。製造業の高度化、自動化向け需要増に伴い国内外で顧客企業の設備投資が拡大。データセンタ向け半導体、車載用電子部品など向けに、ACサーボモータの需要が旺盛。ロボットも自動車関連の他、一般産業分野向けも生産自動化に伴う需要が伸び中国中心に拡大。サムスンが半導体の投資抑制に取り組んでいることから、ACサーボモータの受注に減速感があるものの、ロボットの伸びで補い通期計画は据え置き。(松本 直志)
シグマ光機 (7713) 東証JASDAQ 2,090円 100株	18年5月期決算は前年同期比14.1%増収、57.0%営業増益。教育機関、公的機関などの研究開発分野向けやFPD、半導体、電子デバイスなどエレクトロニクス業界向けに、光学ユニット、対物レンズ、光学素子などが好調に推移。特に利益率の高いスマートフォン、半導体などエレクトロニクス市場向けレーザ加工機・検査装置への組込用レンズユニットが好調だった。今期も産業分野の堅調な設備投資、研究開発投資を想定し前年同期比4.5%増収、13.0%営業増益計画。(松本 直志)
共立メンテナンス (9616) 東証1部 5,640円 100株	17年度決算は前年同期比11.9%増収、10.8%営業増益。寮とホテルが拡大し6期連続最高益を更新。インバウンド比率が昨年の20.5%から27.1%へ上昇したことで、ビジネスホテルの客室単価が3.9%上昇。18年度も寮とホテルの拡大が継続し、前年同期比8.3%増収、7.0%営業増益計画。ビジネスホテルは11棟、1,900室が開業予定。昨年開業したホテルの通期貢献と客室単価、稼働率の上昇で今期も好調継続見込み。(松本 直志)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%(ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室